【様式２】構想調書

　※申請時は青字による注釈等を全て削除してから提出してください。なお、各項目の黒字部分は削除しないでください。

　※四角囲みの記入欄のフォントはMSゴシック、フォントサイズは12ポイント（黒字）としてください。

　※適宜、図表を入れても構いません。

１．オープンイノベーション機構の特色、経営戦略

（ア）オープンイノベーション機構の特色、経営戦略

　　オープンイノベーション機構の特色を説明してください。また、オープンイノベーション機構のマネジメントにより競争領域を中心とした大型の共同研究を獲得し、自立的な経営を行っていくための戦略や資金獲得の目標（大学の潜在力を踏まえた民間資金獲得目標額等）について、大学の運営方針におけるオープンイノベーション機構の位置づけにも触れながら説明してください。

|  |
| --- |
| 〔特色〕  〔経営戦略〕  〔資金獲得の目標〕  ※民間資金獲得目標額（機構を通じた全体の獲得額）は、必ず説明してください。 |

（イ）既存の産学連携本部やＴＬＯ等との役割分担

既存の産学連携本部等との役割の相違点及び連携による相乗効果を説明してください。特に、オープンイノベーション機構と既存の産学連携本部等が対象とするプロジェクトの考え方（対象範囲の違い）を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

■組織図

※学内におけるオープンイノベーション機構の位置づけがわかる図を記入してください。適宜、画像（jpegなど）を貼り付けても構いません。

■体制図

※オープンイノベーション機構内の人員配置がわかる図を記入してください。適宜、画像（jpegなど）を貼り付けても構いません。

２．オープンイノベーション機構における運営体制  
①マネジメント部門  
　―競争領域を中心とした大型共同研究のマネジメントを可能とする体制―

1. 経営の自由度を確保するための適切な責任・権限体系の確立の考え方

学長によるイニシアティブのもとで、オープンイノベーション機構が経営の自由度を確保するための適切な責任・権限体系を確立できるかを説明してください。

|  |
| --- |
|  |

■責任・権限体系

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 役職名  業務プロセス | 責任&権限区分 　（◎：意思決定、○実施担当、□企画提案） | | | | | | | | |
| 学長 | 機構長 | 統括ＣＭ | プロジェクトＣＭ | サブ・プロジェクトＣＭ | 知財ＣＭ | 法務ＣＭ | 財務ＣＭ | 人事ＣＭ |
| 企業への企画・提案・交渉 | ○ | ◎・○ | ○・□ |  |  |  |  |  |  |
| マーケティング |  |  | ◎・○・□ |  |  |  |  |  |  |
| プロジェクトマネジメント |  |  | ◎ | ○・□ | ○ |  |  |  |  |
| 知財マネジメント |  |  | ◎ |  |  | ○・□ | ○・□ |  |  |
| 利益相反・リスクマネジメント |  | ◎ |  |  |  |  | ○・□ |  |  |
| 財務マネジメント |  |  | ◎ |  |  |  |  | ○・□ |  |
| 人事・給与 |  | ◎ | □ |  |  |  |  |  | ○・□ |

※必要に応じて、欄を追加してください。

1. クリエイティブ・マネージャーを中心とするマネジメント体制の考え方

本事業の成否の鍵を握る統括クリエイティブ・マネージャーは、産業界での豊富な勤務経験や顕著な業績を有し、十分なエフォート率のもとで、競争領域を中心とした大型共同研究の企画・提案等のマネジメントを適切に行い、新たな民間資金の獲得を期待できるかを説明してください。

また、マネジメント部門について、大学の規模、組織形態を踏まえ、外部からの招へい、アウトソース、学内教職員の再配置などにより、クリエイティブ・マネージャーを中心とする集中的なマネジメント体制をどのような考え方に基づき構築するのかを説明してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 〔統括クリエイティブ・マネージャー〕○○　○○  【エフォート率】○％  【採択後の民間企業との兼務（有無）】　有・無  ※有の場合は、当該企業名と役職を記入してください。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 担当業務 | 採用する理由 | | | 特筆すべき経験 | 新たな民間資金を獲得する上での強み | | ・○○○○  ・○○○○  ・○○○○  ・○○○○ |  |  |   ※上記の者を採用する理由について客観的指標となる事実等があれば記入してください。  〔集中的なマネジメント体制の考え方〕  ※どのような考え方に基づいて集中的なマネジメント体制を構築するのか記載したうえで、各クリエイティブ・マネージャーが担当する業務及びエフォート率を下表に記載してください。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 役職 | 担当業務 | エフォート率 | | プロジェクトＣＭ |  | ○％ | | 知財ＣＭ |  | ○％ | | 法務ＣＭ |  | ○％ | | 財務ＣＭ |  | ○％ | | 人事ＣＭ |  | ○％ |   ※必要に応じて、欄を追加してください。 |

1. 企業への企画・提案機能の考え方

民間資金獲得目標額の達成に向けて、オープンイノベーション機構に係る収入を伸ばすため、企業への企画・提案機能の具体的な考え方を示し、どのような点に特色があるのか。とりわけ、企業ニーズを踏まえた取組（マーケティングや技術トレンドの把握を含む）をどのように強化するのかを説明してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 民間企業との競争領域における利益相反の処理やリスクマネジメントの状況

オープンイノベーション機構が企業の事業戦略に深く関わる研究開発を行う上で必要となるリスクマネジメント体制（利益相反マネジメント、技術流出防止マネジメント）の整備状況を簡潔に説明してください。

また、民間企業と兼務するクリエイティブ・マネージャーがいる場合は、特に利益相反の観点から兼務している企業との関係を中心に、具体的にどのような対応方策をとるのかを説明してください。

|  |
| --- |
| 〔民間企業との利益相反マネジメント等の体制・手続の整備状況〕  【マネジメント体制・手続の有無】  　有　・　無  【整備状況】※有の場合、学内で整備している制度名を記入してください。  ・○○○○  ・○○○○  【具体的内容】  ※上記内容の根拠となる学内規程等について、別途、参考資料として提出してください（当該資料は、申請書の頁数に含まない）。  〔民間企業と兼務するクリエイティブ・マネージャーへの対応方策〕 |

■マネジメント部門の名簿・略歴

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ＯＩ機構における役職 | 氏名 | 生年月日 （年齢） | 現職 （機関名・役職） | 採択後の職名 （予定） | 略歴 | 本事業のエフォート率 | 本補助金により配置される者 | 雇用契約関係 |
| 機構長 | ○○　○○ | 1955/10/1 (63歳） | 理事・副学長 | 理事・副学長 | 【学歴】 1978 ○○大学　○学部○学科　卒業  1983 ○○大学大学院　○研究科○専攻博士課程修了 【職歴】 1983 ○○大学　○学部○学科　助手  1990 　　　　〃　　○学部○学科　助教授 1998 　　　　〃　　○学部○学科　教授 2012 　　　　〃　　○研究科長 2016 　　　　〃　　理事・副学長 　現在に至る | - | - | ○ |
| 統括クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ | 1960/11/11 (58歳） | 株式会社○○ 取締役 | ○○大学 特任教授  株式会社○○ 取締役 | 【学歴】 1983 ○○大学　○学部○学科　卒業   【職歴】 1983 株式会社○○　入社  2007 　　　　〃　　　　　○○センター所長に就任 2013 　　　　〃　　　　　取締役に就任 　現在に至る | ○％ | ○ | ○ |
| プロジェクト・クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ○ | ○ |
| サブ・プロジェクト・クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ○ | ○ |
| 知財クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ― | ○ |
| 法務クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ○ | ○ |
| 財務クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ○ | ○ |
| 人事クリエイティブ・マネージャー | ○○　○○ |  |  |  |  | ○％ | ― | ○ |

※「生年月日」、「現職」は、申請時の年齢、所属、役職を記入してください。また、「採択後の職名（予定）」には、採択された場合に就く予定の常勤全ての職名を記入してください。

※上記名簿は、本補助金により配置される者だけでなく、学内財源によりオープンイノベーション機構に配置される者を含めて記入してください。

※「本補助金により配置される者」欄には、本補助金により配置される者（雇用契約以外の業務委託契約等により配置される者を含む。）について「○」を記入してください。

※「雇用契約関係」欄には、大学との間で雇用契約を結ぶ者について「○」を記入してください。

※エフォート率は、本事業への参画について、当該大学の週あたりの業務日数を基に算出してください。

※統括クリエイティブ・マネージャー以外の具体的なメンバーが決まっていない場合は、現在、想定している人物像をご記入ください。「氏名」欄は「（想定する者）」とし、想定する「年齢」～「雇用契約関係」を記載してください。

※必要に応じて行を追加してください。

②プロジェクト部門　－研究者の研究領域や学部等を横断した組織化－

（ア）研究者の研究領域や学部等を横断した組織化の考え方

プロジェクト部門について、研究領域や学部等を横断して「チーム」として編成されるか、どのような点に特色があるのかを説明してください。

|  |
| --- |
| 〔予定している研究領域、学部等〕  〔研究領域、学部等を横断してチーム化した場合の特色〕 |

1. 研究者の組織化を実現するためのインセンティブシステムの設計

上記（ア）を実現するために、実際に研究者を組織化するための具体的方策（産学連携が進む人事評価制度、インセンティブとしての給与、スペース、研究費配分への反映等）について、これまでの学内における制度・取組とオープンイノベーション機構における新たな制度・取組をそれぞれ説明してください。

|  |
| --- |
| 〔これまでの全学的な制度・取組〕（あれば記載してください）  ① ○○○○制度  （取組内容） ・・・・・・・  ② ○○○○制度  （取組内容） ・・・・・・・  〔新たな制度・取組（予定）〕  ① ○○○○制度  （取組内容） ・・・・・・・  ② ○○○○制度  （取組内容） ・・・・・・・ |

■プロジェクト部門の名簿

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究領域 | 研究開発プロジェクト | 氏名 | 年齢 | 所属 | 役職 | 学位 | 専門分野 |
| ○○○○ | ○○○○○○○○ | ○○　○○ | 45 | 工学部 | 教授 | 博士（工学） | 材料工学 |
| 〃 | 〃 | △△　△△ | 43 | 工学部 | 准教授 | 博士（工学） | 宇宙工学 |
| 〃 | △△△△△△△△ | □□　□□ | 44 | 工学部 | 教授 | 博士（理学） | 電気工学 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

※申請時の年齢、所属、役職を記入してください。

※オープンイノベーション機構に参画する予定の研究者について記入してください。

※研究領域、研究開発プロジェクトごとに記入してください。

1. 資金調達・収支計画　－大型共同研究の運営による自立的経営－

（ア）財務マネジメント体制の考え方

オープンイノベーション機構の自立的経営に向けて、財務マネジメント体制（専任の財務クリエイティブ・マネージャー等の配置等）の考え方及び特色（特に、共同研究に係るコスト分析・管理が可能な体制か）を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

（イ）自立的経営に向けた具体的方策

現在の共同研究ごとの採算性を確保する管理会計的な手法の導入状況（申請時）とともに、自立的経営に向けた方策（研究者人件費相当分の計上、「戦略的産学連携経費」の計上、新たに採用する施策等）について、具体的にどのような取組であるのか、想定している支出を十分に賄えるかを説明してください。

|  |
| --- |
| 〔管理会計的な手法の導入状況（申請時）〕  　有　・　無  【具体的内容】※有の場合、具体的な導入状況を記入してください。  〔自立的経営に向けた具体的方策〕  ※オープンイノベーション機構において、新たに採用する取組・制度がある場合は、必ず説明してください。 |

■自立的経営の財源となる収入一覧

自立的経営の財源となることが想定される収入について、企業負担を求める（予定）場合は「○」、負担を求めない場合は「×」を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 収入項目 | 現状 | 計画 | 積算の考え方 |
| 人件費相当額 | × | ○ | アワーレート×研究実施時間（大型案件のみ） |
| 間接経費 | ○  （10％） | ○  （30％） | 10％は学内規定による（特段、積算していない）が、積み上げを行い、30％以上の企業負担を求めていく |
| 戦略的産学連携経費 | × | ○  （10％） | コーディネート費（大型案件のみ） |
| ライセンス収入 | ○ | ○ |  |
| ・・・ |  |  |  |
| ・・・ |  |  |  |

※上記以外の収入項目を追加することも可です。

（ウ）競争領域における大型共同研究の実現可能性

オープンイノベーション機構の自立的な経営の前提となる競争領域における大型の共同研究（受託研究を含む。以下同じ。）の実現可能性について、企業との組織対組織による大型共同研究の実績（１千万円以上の共同研究）及び企業との包括連携協定等による共同研究の実施状況を踏まえて説明してください。

|  |
| --- |
| 〔企業との１千万円以上の共同研究の実施状況（平成27～29年度）〕  　　FY2015　総額：○千万円、件数：○件  　　FY2016　総額：○千万円、件数：○件  　　FY2017　総額：○千万円、件数：○件  〔上記のうち、企業との包括連携協定等がある企業数（平成27～29年度）〕  　　FY2015　締結企業：●●株式会社(総額：○千万円、件数：○件)  FY2016　締結企業：●●株式会社(総額：○千万円、件数：○件)  FY2017　締結企業：●●株式会社(総額：○千万円、件数：○件) |
| 〔競争領域における大型共同研究の実現可能性〕 |

４．大学改革へのアクション

オープンイノベーション機構の自立的経営を目指すため、機構において採用するこれまでの全学的な制度・取組と新たな制度・取組（産学連携が進む人事・給与制度等のインセンティブ設計を含む。）（予定）を説明してください。また、オープンイノベーション機構における新たな制度・取組（予定）について、学内展開を想定している場合は、その内容を説明してください。

|  |
| --- |
| 〔これまでの全学的な制度・取組〕（あれば記載してください）  〔新たな制度・取組（予定）〕  ※オープンイノベーション機構における新たな制度・取組を、以下のような形式で説明してください。また、機構外への展開・波及効果を想定している場合は、その計画も説明してください。  ① ○○○○制度  （取組内容） ・・・・・・・  （計画） 2022年度を目途に、・・・・・・・に展開する。  ② ○○○○取組  （取組内容） ・・・・・・・  （計画）2023年度を目途に、オープンイノベーション機構の収入の一部を・・・・に戦略的に配分する。 |

５．審査に関する留意事項  
－持続的発展のための基盤づくり（共同研究コンソーシアムの形成など）－

競争領域を中心とした大型共同研究をオープンイノベーション機構が持続的にマネジメントしていくための基盤づくりのため、複数企業による非競争領域の共同研究コンソーシアムをどのように形成し、将来的に大学の有する研究リソースを効果的かつ最大限に活用し得る可能性を有しているか、また、オープンイノベーション機構に具体的に連結させていく計画なのか、その特色と道行きを説明してください。

|  |
| --- |
|  |

【参考】共同研究コンソーシアムの形成状況（初年度）

初年度における、競争領域を中心とした大型共同研究テーマ、及びオープンイノベーション機構が持続的にマネジメントしていくための基盤となる共同研究コンソーシアム（将来的にオープンイノベーション機構のプロジェクトとして発展し得る非競争領域のプロジェクト候補でも可）を以下に記入してください。

共同研究コンソーシアム

|  |
| --- |
| ※初年度における研究開発テーマ又は分野名（資金規模）を記入してください。  ※産学協創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）など国から支援を受けている場合（申請予定も含む）は、その旨を記入してください。  ※共同研究コンソーシアムは、民間企業が参画する研究開発テーマのみを記入してください。  ①　・・・・（○○千円）  ②　・・・・（○○千円）※OPERA |
| （参画企業）   1. ●●株式会社、・・・・ 2. ●●株式会社、・・・・ |